

児童発達支援クラブ ハミング

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和2年3月31日

	チェック項目	はい	どちらともいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			自閉傾向の強いお子さんが音や声から非難したり、パニックを起こしてしまったお子さんがクールダウン出来るように鎮静の部屋を用意している。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			利用者人数や活動によって人数配置を換えているが、十分なスタッフ配置ができていると思う。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		2階建てなので、室内に階段がある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			年度初めに目標設定を行い、10・3月に自己評価をしている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年1度アンケートをとり、利用者の意見を聞いている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	7 第三者により外部評価を行い、評価結果につなげているか		○		外部専門家としてOTの木村順先生と元八幡学園職員の土橋良太先生をお招きして、支援等に関するアドバイスを頂いている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎年2回は法人全体研修を行っている。毎月色々な研修の機会を設けるようにしている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			卒業後の進路も踏まえたアセスメントを行い、保護者のニーズも含めて計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			場合により、検査を行えるようにK式等の検査キットを準備している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案・週案・日案を作成し、スタッフで話し合いをしながらプログラムを作成している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者個人や、集団にあわせたプログラムを考え、色々な事に取り組む事が出来るようにしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みや休日のプログラムは普段なかなか出来ない活動(公共交通機関を使っての外出・体力作りや体力の発散などを目的とした体をたくさん動かす活動など)を取り入れるようにしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団で取り組むグループ活動と、教材学習などの個別活動のプログラムを作り、個々のニーズに合わせて行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝は児童事業所全体で打ち合わせ(児童配慮点など)をし、活動前は各事業所で打ち合わせを行ってから支援に入るようにしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、事業所でその日の反省会を行っている。その際、その日のお子さんの特記事項を周知するようにしている。また、その後法人全体での反省を行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表	○			毎日その日利用したお子さんの個人日誌を記録している。また、活動計画に反省と特記事項を記録している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行っていただきたいが、なかなか難しいようで、相談員の方とは電話でのやりとりが多い。モニタリングの際に使えるよう、各お子さんのフェイスシートを作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインでチェックを行ったが、ほぼ沿って支援できていると思う。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通したもっともふさわしいものが参画しているか	○			責任者と、子どもと関わっているスタッフとで参加するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			年に何回かある学校の説明会に参加し、最新の情報を確認している。また、引き継ぎの際に先生と情報共有が出来るように心がけている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在該当する利用者の方がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	対象のお子さんが、小学校高学年から中学部高等部の方なので就学前の保育園幼稚園と情報共有する機会がない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			福祉サービス移行において情報は提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	センターでの研修にはなるべく参加するよう心がけている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			法人で行っている地域食堂等で近隣の子供たちの出入りを行い、交流を深めている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	機会があまり得られない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎の際に、その日のお子さんの様子をお伝えしている。その中で最近の状況や困りごとなども伺い、課題や対応の仕方などについて共通理解できるよう心がけている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者の方へ向けての座談会や地域に向けての講演会等、保護者の方に対しての支援を行っている。直接的な保護者向けの支援等は面談等、個々に対応している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			○	支援の内容について、保護者の方と連絡帳や送迎時、電話、面談等で連絡を取り合っているが、まだまだ不十分な部分もある。随時質問等があった場合には説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			毎年行っている面談とは別に、要望があれば個別面談を随時行っている。また、送迎時や電話などでお話しを伺い、対応している。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子ふれあい交流会や保護者会・動物公園花壇ボランティア保護者交流会・父の会などを定期的に行っている。	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの相談苦情は、管理者が対応し、その後他のスタッフに周知するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信(児発・放デイの月報)を発行、また年に1度「風のささやき」(法人の年報)を発行している。また、HPも作成している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			スタッフから個人情報守秘義務についての誓約書を交わし、確認している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳にその日の様子を記載し、帰りの送迎時に保護者の方にお子さんの様子を伝えている。また、送迎時に保護者の方の様子を感じ取ることが出来るように心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域食堂・ひまわりプロジェクトを行い常に近隣住民と交流を図る努力を行っている。
非 常 時 等 の 対	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアルを作成し、周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を行っている。また非常食を食べる機会も設けている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎月のスタッフ会議で、虐待防止チェックを行い、スタッフ間で確認している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		以前はミトンを使用するお子さんがいた為、保護者に同意書をもっていただいていたが、現在は身体拘束の対象となるお子さんがいない。対象となるお子さんが出た時の為に、身体拘束のマニュアルを作成してある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーのあるお子さんについてはスタッフ間で周知している。また、台所にアレルギーのあるお子さんの情報を掲示してある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットがあった際には、記録を残してある。また、毎月のスタッフ会議の際に発表し、対処の方法を話し合っている。

|

|